

授業コード	2121331nh2	科目ナンバリング	-----
授業名	欧米文化研究		
英文名	Cultural Studies(Europe and America)		
単位数	2.0単位		
開講年度・学期	2025年度前期	曜日・時限	金曜2限
実施教室			
授業形態	講義		
メディア科目			
オープン科目			
学位授与方針（D P）	理工学部理工学科DP5		
担当教員(先頭者が主担当)	中島 浩貴		

目的概要	本講義では、ヨーロッパとアメリカの文化を見ていき、欧米文化の歴史的な変化を見ていきます。そして、欧米の文化的な影響を受けた日本が、どのように変化・対応していったかをも触れていく予定です。なお、映画やドキュメンタリーを見ることで、文化の類似と相違を感じてもらいたいと考えています。
達成目標	(1) 学生が「教養」について考えることができる。 (2) 学生が自分たちの文化と多文化との関係を理解できる。 (3) 学生が欧米文化と現在の日本を結びつけて考えることができる。
関連科目	「戦争と平和の歴史／歴史学A」「歴史学／歴史学B」「インテレクチュアルヒストリー特論」「教養ゼミナールB／人文社会学ゼミB（中島）」「多文化コミュニケーションA」「多文化コミュニケーションB」
履修条件	とくになし。
教科書名	とくになし
参考書名	新谷卓、中島浩貴、鈴木健雄編著『歴史のなかのラディカリズム』彩流社、2021年。 トーマス・キューネ、ベンヤミン・ツィーマン編『軍事史とは何か』原書房、2017年ほか、講義中に詳しく述べる。
評価方法	授業中提出課題20パーセント+試験80パーセント
課題に対するフィードバック方法	（第13回）第14回で実施するレポートに関する事前説明と、それまでの提出課題に関する全体講評を行う。 （第14回）第14回で実施したレポートに関する採点評価に関する基準の説明を全体講評で行う。
自由記載欄	
アクティブラーニングの実施	講義では相互コミュニケーションを重視します。教員、学生間でできるだけ意思の疎通をはかるようにし、基本的な知識の確認、疑問点などを通して、理解の促進と深化を図ります。 講義内容に関する興味関心を高めるため、簡単なビブリオバトルを行う予定です。
ICTの活用	とくになし。
実践的教育科目	

テーマ・学習内容	
第1回	授業概要について／ヨーロッパとアメリカの文化 【事前・事後学習】シラバスを確認し、講義内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を探しておく。（計190分）
第2回	欧米文化と日本（教養、大学、大衆化、消費文化） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
第3回	識字率の向上と文豪（1）ヨーロッパにおける識字率の増大と文学の形成 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）
第4回	識字率の向上と文豪（2）ドキュメンタリー・映画を見て、名作の世界を体験する 【事前・事後学習】ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。ビブリオバトルの準備をしておく。（計190分）
第5回	大学と高等教育のエリート化 近代的な大学の形成と知識人、ビブリオバトル 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）

第6回	第一次世界大戦の衝撃と大衆社会 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておく。(計190分)
第7回	第一次世界大戦後の社会変容と文化 ドキュメンタリー・映画を通じて 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。(計190分)
第8回	ナチ政権と文化（１） ナチ政権はどうして成立したのか。その過程と大衆社会の到来に注目する。 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。(計190分)
第9回	ナチ政権と文化（２）ナチ政権は何をもたらしたのだろうか。文化と社会に注目する。 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。(計190分)
第10回	ナチ政権と文化（３）映画、ドキュメンタリーを通じて、当時の世界を追体験する。 【事前・事後学習】ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。講義内容に関係する本を読んでおく。(計190分)
第11回	大衆消費文化（１）アメリカの消費文化の形成とその世界化を見ていく。大衆消費社会の特徴、批判を知る。 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておく。(計190分)
第12回	大衆消費文化（２）映画、ドキュメンタリーを通じて、当時の世界を追体験する。 【事前・事後学習】ドキュメンタリー・映画の内容を確認しておく。(計190分)
第13回	ヨーロッパ、アメリカの文化と現代、ビブリオバトル 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分)
第14回	教場レポート、全体講評 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分)
質問への対応（オフィスアワー等）	1444研究室（中島浩貴研究室）で受け付けます。オフィスアワーは金曜17:10-18:00、講義や会議が入る場合がありますので、事前にご連絡ください。
E-Mail address	hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp
備考	講義が中心です。わかりやすく話しますが、わからないことがあれば講義中にかまわず質問してください。歓迎します。なお、補助として映像を活用します。
J A B E E	RG学系JABEEプログラムの履修生は、アセスメント・ポートフォリオで、「学習・教育到達目標」を参照の上、当該授業科目と「学習・教育到達目標」との関係を「カリキュラムマップ」で確認すること。 なお「学習・教育到達目標」の達成度については、「JABEEプログラム 学習の手引」内の「達成度の評価方法・評価基準」を参照して確認すること。

学期末試験＜事務部記入＞	
試験方法	対面試験
試験実施日時	2024/07/19 金 2時限
参照可否	ノート、授業配布資料、参考書『歴史のなかのラディカリズム』など、事前に許可を得たもの。
着席方法	試験着席
レポート提出先	
レポート提出期限日時	
備考	